

第 6 回 品川区スポーツ推進計画策定委員会 議事要旨

- 日 時 令和 2 年 10 月 29 日（木） 18:30～20:30
- 場 所 品川区役所第二庁舎 5 階 252・253 会議室
- 議題
1. 開会
 2. 議題
 - (1) 品川区スポーツ推進計画素案（案）について
 - (2) 今後のスケジュールについて
 3. その他
 4. 閉会
- 配付資料
- | | |
|------|---------------------------|
| 資料 1 | 令和 2 年度 品川区スポーツ推進計画策定委員名簿 |
| 資料 2 | 第 5 回品川区スポーツ推進計画策定委員会 報告書 |
| 資料 3 | 品川区スポーツ推進計画素（案）概要 |
| 資料 4 | 品川区スポーツ推進計画素（案） |
| 資料 5 | 今後のスケジュール |

■議題（詳細）

1. 開会

事務局より配付資料の確認を行った。

2. 議題

(1) 品川区スポーツ推進計画素案（案）について

事務局より資料3および資料4に基づき説明を行った。

○資料4の各章ごとに、各委員からご意見をいただきたい。

<第1章>

○P5のSDGsについて用語解説は載せているが、17のゴールについてもう少し説明を加えていただくと一般区民にとっては理解しやすいのではないかと。

○資料としての掲載を含め、掲載する方向で記載内容および記載場所を検討させていただきたい。

○P9の品川区スポーツ推進委員の歴史について、本文では「50年以上」となっているが、「60年以上」ではないか。P10の年表では、昭和32年に制度開始となっているので、整合がとれていない状態にみえる。

○体育指導委員制度について、全国でできたのが昭和32年、品川区でできたのが昭和37年のため、いずれも記載するようにすればよいのではないかと。

○それぞれの事実を踏まえ、誤解のないように書き方を検討させていただきたい。

○P10の2行目の「地域スポーツ」は、「地域スポーツ振興」または「地域スポーツ活動」の方が適切ではないかと。

○確かに具体的な言葉があった方がわかりやすいので、修正させていただきたい。

○P10の9行目の「区民の体力向上とレクリエーション」は、「区民の体力向上とスポーツ・レクリエーション」に変えた方がよいのではないかと。

○品川区スポーツ協会の前身として、品川区体育協会と品川区レクリエーション協会があり、それぞれでスポーツとレクリエーションを別々に推進してきた経緯がある。その成り立ちが背景にあるので、ここでは「レクリエーション」という文言のみとした。ご意見を踏まえて修正するかどうか検討させていただきたい。

<第2章>

○P17の子どものスポーツの実施状況について、品川区としての体育の授業の考え方や、体育の授業数などの実態を掲載するとよいのではないかと。

○学校現場の体育と子どもの体力の実態は、素案で示すかどうか検討させていただきたい。学校現場の体育については、最終的な計画書の内容で示すことができるとよいと考えている。

- P19の子どもの体力の状況について、結果として品川区は東京都と同じ傾向となっている部分もあるが、上回っている項目もあれば、下回っている項目もある。この結果から、成果が現れていると表現するのは、少し意図が伝わりづらいのではないか。
- 改めて伝えたい意図を明確にし、誤解のないように書き方を検討させていただきたい。
- 子どもの体力の実態については分析をしなくてよいのか。東京都よりも得点が下回っているのであれば、その部分を強化するための施策を検討しなければならないのではないか。
- P17の子どものスポーツの実施状況をみると、5年生よりも8年生のほうがスポーツを実施している子どもの割合が高くなっている。一方、P19の子どもの体力の状況をみると、体力の傾向は5年生よりも8年生の方に課題がある。このような傾向をみると、やはり分析は必要ではないか。また、P19に記載のある「独自の取り組み」が効果をあげている具体的な内容を示したほうが良いのではないか。
- 体育の授業で「独自の取り組み」を行った結果、体力向上に反映したという因果関係を示すことはとても難しい。分析結果をどこまで冷静に記載できるかどうか、記載しても事実と反する可能性もあるため、分析結果を記載するかどうかは慎重に検討したほうがよい。
- 「独自の取り組み」というのはとても気になる。ここだけは何か例示を載せる必要があると考えている。
- 「独自の取り組み」について、具体例を記載する方向で検討させていただきたい。
- 素晴らしい体育の授業を実施することで体力向上を図ることは難しいが、スポーツを実施するきっかけづくりには寄与できていると考える。「独自の取り組み」を実施して、スポーツを奨励しているような書き方もできると考える。
- 事務局でどのような記載内容にするか検討していただきたい。
- P21の6行目の「多くなってことから」は、「多くなっていることから」に修正いただきたい。また、P22の5行目の「気軽に」という文言は、様々な事情によりスポーツを実施できていない方達に対する表現として適切ではないと考える。
- P21は修正させていただきたい。P22は前後の文章の趣旨を踏まえて、修正するかどうか検討させていただきたい。
- P39の「(6) スポーツの維持・管理・運営と利用促進」の維持・管理・運営という部分について、向上という考え方を示すことはできないか。夜間照明がない学校は、夜の貸出しができないなどの課題がある。
- 施設の維持・管理・運営について、スポーツ推進課が所管している施設であれば向上という言葉を入れてもよいと考えているが、学校施設の場合は近隣住民への配慮を踏まえる必要がある。施設の質を充実させることと、近隣住民の意向とのバランスをとることが重要なため、このような表現に留めている点をご理解いただきたい。
- 社会体育の分野で利用されている施設について、備わっている機能やできる競技種目

などの考え方、発想を学校体育施設に転用できないか。また、予算配分も教育委員会だけではなく、他の課から確保できないのか。例えば、ボルダリングなどの施設を学校にも導入するといったことを記載しても良いのではないだろうか。

<第3章>

- P45の数値目標について、今後5年ごとに見直すことになると思う。ただ、今の社会は変化が激しく、スポーツの取り組み方も新しいものが生まれる可能性が高い。健康のためや体型維持のために自宅で運動する活動は、スポーツに含まれているのか。数値目標70%以上を達成するためには、自宅でやる運動やオンラインで実施している活動もスポーツに含めて良いのではないか。
- 本計画では、スポーツを幅広く捉えており、P71の基本目標4のリード文などでその見解を示しているところである。
- 数値目標の考え方について、今年、新型コロナウイルス感染症の影響で体力調査を実施している学校が少ない中、実施した品川区の学校の結果をみると、昨年の結果をやや上回っていたことが認められた。実施時期が春から秋になったことも影響しているかもしれないが、品川区の値が全国平均と比べていくつになるのか、東京都と比べていくつになるのかなど、社会情勢を加味するような比較もあると考える。数値目標の考え方として、何%以上というような目標ではなく、全国平均と比較して何ポイント以上というような目標の示し方はいかがか。
- 数値目標はあくまでも5年後に品川区がどのようにになっているのか、どこまで達成したのか、効果測定を行うためのものであるため、現在記載されている内容のままでよいと考えている。
- 数値目標について、これまで週1回の頻度で実施していたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、活動頻度が減ってしまっている。感染症対策も視野に入れて、三密を避けることのできる広い場所を提供できるとよいのではないか。
- 場所の提供についてはとても大きな課題である。一方で、スポーツの捉え方を変化させる必要がある。新型コロナウイルス感染症の影響により、個人でランニングやウォーキングを実施する人が増えてきている現象もみられるため、スポーツの取り組み方に関する周知が必要となってくるのではないか。
- P47の「③障害者が継続的に活動できる機会の充実」について、「機会」よりも「場」や「環境」の方が伝わりやすいのではないか。機会というのは、イベントや教室という意味合いに近いと感じた。内容に応じて検討していただきたい。
- ご意見を踏まえて修正するかどうか検討させていただきたい。

<第4章>

- 学校はコミュニティスクールを導入し、地域と手を取り合ってスポーツを推進する取

- り組みを実施している。また、PTAで子どものためにドッジボール大会などを開催している。そのような活動も載せてもらえるのか。
- P50の「少年少女スポーツ普及事業」が該当するので、PTAが実施主体であることを追記させていただく。また、コミュニティスクールについての示し方は相談させていただきたい。
 - P51の「東京都統一体力テストの実施」について、東京都ではそのような名称が使用されているが、全国平均が出ているため、名称を再度確認していただきたい。
 - 担当課に確認してこの名称となっているが、改めて確認させていただきたい。
 - 品川区には様々なスポーツ大会がある。紙面があれば、大会のPRを図っていくことをねらって一覧表を示すと良いのではないかと。
 - 掲載できたら良いと考えるが、日常的な活動は多種多様なため、全て載せることは難しいと考える。顕著な成績を収めた競技種目のことを載せるなどであれば可能かもしれないが、ご検討いただきたい。
 - P51の「③スポーツを通じて協調性や自信を育む機会の充実」の主な事業例に「少年少女スポーツ大会」を、P58の「①生涯をとおして参加できる機会の充実」の主な事業例に「区民スポーツ大会」を記載している。個別の競技種目は載せていないが、たくさんの競技種目があることが伝わるように記載方法を工夫させていただきたい。
 - P51の4行目の「自信を養う機会」は、「経験を高める機会」という表現が適しているのではないかと。
 - 「自信を養う機会」について、品川区小学生バレーボール連盟としては、支援してもらえると自信につながることはあると考えている。表現を修正するのであれば、「自信につながる機会」の方が適しているのではないかと。
 - 各委員のご意見を踏まえて、表現を検討させていただきたい。
 - P52の「スポーツデビュープログラム」は、表題のみとなっているため、次のページに送ったほうがよい。また、P53の「フリースポーツ・スポーツ教室」の（地域スポーツクラブ等）は、（各地域スポーツクラブ等）のほうがよいのではないかと。
 - ご指摘のとおり、修正させていただきたい。
 - P53の「フリースポーツ・スポーツ教室」について、フリースポーツが一般的な言葉ではないため、注釈を加えていただければと思う。
 - フリースポーツの種目を例示して、一般区民がわかりやすいように修正させていただきたい。
 - P55の「いきいきウオーキング」について、元々は高齢者を対象とする事業であったが、現在は高齢者以外の方も参加可能となっているので、高齢者と限定しないほうがよいと考える。
 - 区の予算の枠組みとして、「高齢者スポーツの普及」事業に分類しているため、本計画でも「(3) 高齢者のスポーツの推進」に位置付けていることをご理解いただきたい。

- P55の「うんどう教室」について、「4つの」は不要ではないか。
- 削除する方向で検討させていただきたい。
- 障害者スポーツに関する議論があまりできていない印象を受ける。東京2020大会に関する障害者スポーツの記述が多く、一般の障害者が実施するスポーツの言及が乏しい。障害のある子どもたちがスポーツに取り組んでいる実態もあるが、そのような取り組みに焦点が当たっていないことも残念に思う。障害者スポーツという概念的な言葉で済ませるのではなく、具体的な取組内容をもう少しわかりやすいように示していただきたいかった。
- 確かに、P56の「障害者のスポーツの推進」をみると、抽象的な内容に留まっている。もう少し一般区民がイメージしやすいような書きぶりに変えていただくことはできないか。また、P55に「高齢者グラウンドゴルフ大会」とあるが、この事業は障害者も参加できる機会となっているため、そのことを加筆していただけないか。
- 計画書に掲載する取り組みは、毎年、庁内で作成・整理している事務事業概要から抜粋するように留意した。所管課にも内容を確認しているが、障害者スポーツの具体的な取り組みは資料としてどこかで紹介したい。また、区としても障害者が参加できる「グラウンドゴルフ大会」があることは認識しているため、加筆すること自体は問題ない。P56～57の主な事業例について、少し具体的な取り組みの記載を増やし、充実させていきたい。
- 地域スポーツクラブにおいても、荏原B地区で35年続いている障害者が参加できるイベントもある。荏原A地区ではソフトバレーボール大会で障害者のチームをつくり、健常者と共に活動している実態もある。スポーツ推進委員としては、そのような活動の現場と積極的に接点を持つ必要性があると感じている。ぜひ取り組みを載せていただきたい。
- P56の「障害者のスポーツの推進」の内容をみると、東京2020大会に関する記述が前面に出ているが、広く共生社会の実現に向けて取り組むという姿勢を先に出してリード文を工夫したり、障害者スポーツの理解促進、関心喚起に関する記載内容を加筆していただけるとよいのではないか。
- 障害者スポーツへの関心を高めるだけでなく、障害者の理解を深めて、共生社会の実現というように、視野を広げて、スポーツを通じて障害者理解を深めていくというような趣旨の記載にしていいただければと思う。障害者がスポーツをやることだけでなく、障害者スポーツの理解を促すというような取り組みなどの内容を含めることが必要と考えている。
- 各委員のご意見を踏まえて、「障害者のスポーツの推進」の全体的な記載内容について検討させていただきたい。
- P58の「②東京2020大会のレガシーを継承する取り組みの推進」について、東京2020大会が終わった後も、ビーチバレーとホッケー、ブラインドサッカーを普及啓発すると

いう趣旨なのか。

- そのとおりである。特にホッケーについては地域スポーツクラブの事業で取り入れられている。また、ブラインドサッカーは、品川区が日本ブラインドサッカー協会と協定を締結していることから、地域の活動なども含め応援している。
- 東京 2020 大会のレガシーと出てくるが、品川区が考えているレガシーの内容を把握したい。個人的には、障害者理解などの内容と考えていたが、素案をみると、施設のことにはしか言及されていないため、予想していた内容と異なった。レガシーは施設だけのことを指すということによいのか。
- ブラインドサッカーを普及啓発することで、健常者と障害者との接点をつくり、共生社会の実現に向けて、障害者理解、障害者の地域への参加促進につなげようと考えている。ただ、今の状態だと書き込みが少ないので記載方法を工夫させていただきたい。
- P60の「①スポーツ施設の適正な管理運営」について、主な事業例に教育委員会が担っている学校体育施設も掲載していただきたい。また、P64の「①多様な媒体を活用した情報発信」について、主な事業例に教育委員会が学校を通じて区民にスポーツや体育の情報発信していることを記載していただきたい。
- ご意見を踏まえて修正するかどうか検討させていただきたい。

<その他>

- 今回提示された素案は、これまでの書面会議で集めた意見を反映したものであるという理解でよいか。
- これまでの各委員の意見を反映しており、かつ、事務局で言い回しや表現で気になった箇所は修正している。
- 新学習指導要領において、児童生徒が障害の有無等にかかわらず、運動の多様な楽しみ方を共有できるよう留意することが位置付けられているため、その点には留意する必要があると考える。また、新型コロナウイルス感染症の影響でランニングやウォーキングを実施する人が増えている。YouTube を視聴すればスポーツに親しめるという環境も整ってきているので、区民の意識を変えていく必要があると考える。例えば、当計画書において、高齢者が座ったままでもできる運動例などを載せることはできないか。少しでも運動する意欲を高めることにつながる内容を盛り込めないのか。
- 全体的なページボリュームとの兼ね合いで載せるかどうか検討させていただきたい。
- これはスポーツにおける基本計画のため、年度単位の実施計画は別で作成した方がよいと考えている。運動例のような細かい内容を一つひとつ載せることは難しいだろう。

(2) 今後のスケジュールについて

事務局より資料5に基づき、今後のスケジュールについて説明を行った。

- 今回いただいたご意見を踏まえて、品川区スポーツ推進計画素案(案)を修正したうえ

で、12月1日から22日まで素案(案)のパブリックコメントを実施する。素案(案)の全文は区ホームページに掲載するとともに、スポーツ推進課の窓口、各地域センター、各区立図書館、区政資料コーナー等で閲覧することができる。
パブリックコメントの結果については、次回の策定委員会で報告させていただく。

3. その他

次回、第7回品川区スポーツ推進計画策定委員会は、令和3年2月上旬に開催する予定である。別途スケジュール調整を行い、日程を決定させていただく。

4. 閉会

以上